

# 日本福祉介護情報学会ニュース 2005年度第3号

2006年1月30日

発行：日本福祉介護情報学会 ( <http://jissi.jp> )

埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉学部 森本研究室内 [jissi-mail@e-wel.ne.jp](mailto:jissi-mail@e-wel.ne.jp)

【目次】	1. 第6回研究大会を終えて……………	1
	2. 会員総会報告……………	2
	3. 学習会……………	3
	4. 学会紀要……………	3
	5. 学会ホームページ……………	3
	6. 事務局から……………	4
	(編集後記) ……………	4

## 1. 第6回研究大会を終えて

日本福祉介護情報学会第6回研究大会事務局  
(立教大学) 森本佳樹

2005年12月3日(土)に立教大学新座キャンパスにおいて、「福祉情報化のNext Stage—情報化福祉へ—」を大会テーマに、日本福祉介護情報学会第6回研究大会が開催されました。

午前中は、5名の会員による自由研究発表が行われました。1本目は、小林武生氏(大妻女子大学)・渡辺浩氏(介護老人福祉施設九十九園)による「介護老人福祉施設九十九園における福祉情報化推進過程の報告(2)」。2本目は、小関祐二氏・山本浩子氏(日本赤十字広島看護大学)による「グループホームにおけるケア記録のIT化とその効果」。3本目は、安形光司氏(アイティー・ナビキュー)による「医療系システムコンサルタントに求められる資質とスキル」。4本目は、中村広幸氏(芝浦工業大学)・安藤昌也氏(アライドブレインズ)による「立体映像を用いた大学教育における福祉意識の向上」。そして5本目は、梅垣正宏氏(電気通信大学)による「アクセシビリティJISの現状と課題」でした。

午後のプログラムは、学会年次総会に続いて、高橋紘士代表理事(立教大学)が、「福祉介護の動向と福祉情報化のNext Stage—大会テーマ設定の狙い—」と題して、①地域包括ケアシステム、②個人情報保護法、③介護サービスの情報公表制度、④障害者自立支援法などを巡る福祉の動向と、その基底に流れる福祉情報化の必要性・必然性について基調報告を行いました。

次いで、社団法人シルバーサービス振興会企画部の久留善武氏が、「介護サービス情報の公表—介護サービスの情報開示の標準化—」と題して、今年4月から実施される介護サービスの情報開示についての動向と、そのモデルシステムについて報告を行いました。

その後、今回の大会テーマである「福祉情報化のNext Stage—情報化福祉へ—」に関して、まず、(株)NTTデータ システム科学研究所の川森茂樹氏が「課題提起の趣旨と聞き方」を行い、それを踏まえて、(株)日立製作所ビジネスソリューション部の前田みゆき氏が、「日本におけるEAの現状～地域福祉への適用可能性～」と題して課題提起を行いました。前田氏は、企業や自治体などで取り組まれ注目されているエンタープライズ・アーキテクチャ(enterprise architecture / EA)の考え方を説明し、EAの地域福祉への適応可能性について概観しました。

この課題提起を受けて、大正大学人間学部人間福祉学科の長倉真寿美氏が、「地域福祉システムにおける全体最適～EA概念の適用可能性～」と題して仮説を展開しました。長倉氏は、地域福祉

を一つのシステム体系としてみた場合、その全体最適への道筋は、EA概念を使って説明しうるのではないかと、またその際、①区市町村の地域福祉推進の理念・方針、②地域福祉計画、③ネットワーク、④サービス提供のマネジメント、⑤サービス技術という地域福祉構造の5階層ごとに最適化が考えられなければならない、さらに、それぞれの最適化において、①共有化、②標準化、③可視化が重要なキーワードであり、そのためには福祉情報化が必要であり、これが達成されることによって全体最適が実現できるのではないかとし、このような状態の地域福祉は情報化福祉ということができるとの問題提起がなされました。これを受けて川森氏は、情報化福祉の展開に向けての今後の取り組みが求められていることを指摘して「まとめ」とし、課題提起のセッションを終了しました。

その後、会場を移して懇親会が行われ、19:00 過ぎには無事に散会しました。参加者は、約 70 名でした。至らない点等、多々あったかと思いますが、皆様方のご協力を得て、無事終了することができました。改めて、お礼を申し上げます。

## 2. 会員総会報告

日本福祉介護情報学会事務局 森本佳樹

2005年12月3日(土)に開かれた日本福祉介護情報学会第6回研究大会において、会員総会が開催されましたので、報告します。

議案(報告事項・審議事項・その他)は以下のとおりです。

### 1 報告事項

- (1) 会員加入状況(2005年12月3日現在)  
個人会員114名 学生会員32名 法人会員4法人(登録5名)
- (2) 新理事の追加選出について  
代表理事推薦による新理事として林恭裕会員(浅井学園大学)を選任
- (3) 研究紀要『福祉情報研究第3号』について
- (4) ニュースレター第3号の発行について

### 2 審議事項

- (1) 2004年度事業報告・決算  
原案通り承認
- (2) 2005年度事業計画(案)・予算(案)  
原案通り承認
- (3) 役員選挙について  
今年6月の第2期役員体制の任期満了に伴う役員改選について、総会の場で互選し、現執行部が全員留任することになった。

### 3 その他

- (1) 個人情報保護指針の策定について
- (2) 2005年度・学習会について  
未定。決まり次第、ニュースレターあるいはメーリングリストで周知する。
- (3) 2006年度研究大会の開催について  
2006年度は立命館大学で行う予定

### 3. 学習会

日本福祉介護情報学会事務局 森本佳樹

例年通り3月頃に学習会を予定していましたが、~~諸般の事情で、今年度の学習会開催は見送らせてもらうことにしました。来年度の早い時期に開催しようと考えていますので、~~いままが、まだ具体的なプログラムやスケジュールが確定していません。申し訳ありませんが、決定次第、メール、リストやホームページでお知らせしますので、~~~~ご了承ください。

### 4. 学会紀要

日本福祉介護情報学会理事・紀要編集委員長  
(立命館大学) 生田 正幸

#### ■「福祉情報研究」第2号・臨時増刊号

日本福祉介護情報学会研究誌「福祉情報研究」は、刊行が遅れている第2号と臨時増刊号をまもなくお届けします。今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

#### ■「福祉情報研究」第3号原稿募集

- ・2006年度発行予定の「福祉情報研究」第3号掲載の論文原稿を募集します。
- ・日本福祉介護情報学会誌「福祉情報研究」に関する執筆要項に従ってご執筆ください。
- ・投稿のあった論文原稿の掲載の可否については「査読規定」にもとづいて決定します。
- ・「査読規定」には、「学会大会において行われた自由研究発表につき、複数の編集委員が評価を行った結果、適当と認められた場合には、当該発表者が当該発表について執筆する論文について、第一次査読を経ずして第二次査読の対象とすることができる。」と定められています。学会発表者の方々の積極的な投稿をお待ちしています。
- ・投稿締め切りは、原則として1月末日（消印有効）となっていますので、事務局宛にご送付ください。なお、論文原稿の投稿に際しては、その締め切り日において本学会会員であることが必要です。

### 5. 学会ホームページ

日本福祉介護情報学会理事・学会ホームページ担当  
(田園調布学園大学) 村井 祐一

#### ■会員用ページの内容充実

会員制コンテンツの充実を開始いたしました。理事や読者からの福祉情報に関する時事ネタを紹介していきますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。なお、「こんな事を聞いてみたい」という「ネタ」がありましたら、jissi-isl@umin.ac.jpまでリクエストをお願いいたします。

#### ■リンク集の充実

本学会のホームページへのリンク集の充実を開始します。このため本学会の活動に関係するサイトの情報を集めております。下記の条件に該当する内容のサイトの推薦をお待ちしております。サイトの推薦はjissi-isl@umin.ac.jpまでE-mailにてお願いいたします。

- ・ 地域、施設、機関などにおける福祉・介護領域の情報化について
- ・ 福祉・介護領域の情報化に関する政策について
- ・ 福祉・介護に関わる情報システムや情報機器などについて

- ・ 福祉・介護領域における情報提供、情報開示、個人情報保護、権利擁護について
- ・ 福祉・介護領域における情報による当事者支援やデジタルデバインドへの対応について
- ・ 情報バリアフリーや情報のユニバーサルデザインのあり方について
- ・ 福祉・介護領域における情報化に関わる教育、研修について

#### ■メール受信確認のお願い（再掲）

日本福祉介護情報学会では会員の皆様にE-mailにて随時情報提供を行わせて頂いております。このためメールアドレスを変更された場合は、事務局（jissi-mail@e-wel.ne.jp）までメールアドレス変更のご連絡をお願いいたします。

#### 【重要】（再掲）

日本福祉介護情報学会はUMIN(大学病院医療情報ネットワーク <http://www.umin.ac.jp/>)の協力を得てホームページを運営しております。このため会員制のコンテンツの利用やメーリングリストへの参加はUMIN IDが必要となります。なお、UMIN IDの発行はUMINへの入会が必要です（UMINへの入会は会員各自での手続きが原則となっております）。UMIN入会承認後はUMIN IDを学会事務局（jissi-mail@e-wel.ne.jp）にご連絡頂くことで、会員制ホームページへのアクセス権の発行とメーリングリストへの登録を行わせて頂きます。

## 6. 事務局から

日本福祉介護情報学会理事・学会事務局  
（東京都社会福祉協議会）須永 誠

#### ■会員加入状況（2005年12月末日現在）

個人会員 111名 / 学生会員 32名 / 法人会員 4法人（登録 5名）

#### ■2005年度会費の再請求

去年6月末日付けで、本年度にご納入いただく会費等の納入依頼をニューズレター第2号に同封してお送りいたしました。未入金となっております方について、本通信に同封し、納入依頼の書類を再送付させていただきましたので、ご納入をお願いします。

なお、入金チェックとのタイムラグが1週間ほどありますので、行き違いで送金済みの節はご容赦ください。

また、台帳との照合のため、会員個人名以外での送金に際しましては、納入依頼の書類に付してあります番号を、送金者名の前に付して下さいますようお願いいたします。

#### ■2005年度研究大会要旨集等の頒布

去る12月3日に立教大学にて開催いたしました、本学会2005年度研究大会の要旨集に若干の残部がありますので、1冊1,000円（郵送料込）で頒布いたします。ご希望の方は事務局まで電子メールないしはファクシミリでお申し込みください。

#### ■学会紀要実費頒布

学会紀要『福祉情報研究第1号』（1冊実費1,000円+郵送料）も実費頒布中です。ご希望の方は事務局まで電子メールないしはファクシミリ・郵送でお申し込みください。

#### （編集後記）

今年度ははじめて、ニューズレターを3回発刊することができました。理事の皆様のご協力のおかげと、感謝しております。引き続き2006年度も、春号（4月）・秋号（9月）・冬号（1月）の3回、発刊する予定です。

この冬は各地で降雪量が多く、寒くなっています。皆様におかれましてはくれぐれもご自愛ください。

日本福祉介護情報学会理事・ニューズレター担当  
（岩手県立大学）小川 晃子